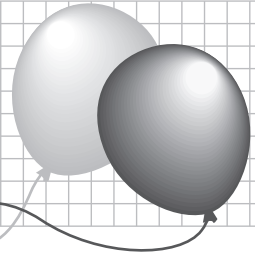


話題の広場



中央会事業より

組合活力向上事業を実施

秋田市通町商店街振興組合

2月8日(金)、秋田市民族芸能伝承館において、秋田市通町商店街振興組合(佐藤政則理事長)を対象に、商店街CI(community identity)の進め方についての研修会を開催しました。

講師の株式会社マネジメントコア前田代表取締役前田進氏からは、「商店街CI活動は、他の商業施設との差別化を図るのに有効な手段の一つ。組合員全員のコンセンサス形成による商店街の独自性を打ち出すタウンコンセプトが重要。」や「商店街の4大機能(競争、集客、販売、成長)を強化し、地域にとって魅力のある商店街づくりを目指してもらいたい。」とアドバイスが行われ、参加者からは「4大機能の重要性を再認識した。」「自社の役割は何かを考えながら、商店街CI活動に取り組んでみたい。」などの声が聞かれました。



【研修会の様子】

組合活力向上事業を実施

秋田県ハイヤー協同組合

2月20日(水)、秋田市のホテルメトロポリタン秋田において、秋田県ハイヤー協同組合(伊藤隆康理事長)の組合員(経営者等)を対象に、経営力向上のための顧客満足向上の方策についての研修会を開催しました。

研修会では、講師のTHE NEXT代表の後閑和子氏の説明に従って、①観光客等への対応の仕方、②接客の基本、③クレーム・苦情への対応と活かし方等について、ロールプレイングを交えながら行われました。

後閑氏は、「県内のタクシー業界は、人口の減少や他の交通機関利用によるタクシー利用者の減少等によって非常に厳しい経営を強いられている。今後、デスティネーションキャンペーンや国民文化祭(平成26年)を控え、観光客等がタクシーを利用する機会が増えることが見込まれている。安全・安心・信頼・ホスピタリティの高い企業として利用者から選ばれる企業を目指してもらいたい。」とアドバイスがありました。



【研修会の様子】

組合活力向上事業を実施

企業組合みんなのやさしい畑

1月23日(水)と2月27日(水)の2回に亘り、秋田駅ビル「トピコ」1階に産直品・加工品の店舗「みんなのやさしい畑」を構える企業組合みんなのやさしい畑(中川兼喜理事長)を対象に研修会を開催し、東北ジャイロ流通研究所長の小柳剛照氏から、売上アップのための現場改善について学びました。

小柳氏は、「地元客を大切にすると安定した売上につながりやすい。特に、秋田駅を利用する通勤・通学者のニーズ把握とサービスアピールが必要。さらに、来店頻度のアップやクチコミ効果による新規客獲得を目指すべきである。」との提言が行われました。また、「レタスの隣にはドレッシングを配置するなどの関連した陳列を工夫する、似顔絵入りのネームプレートづくり、従業員がそれぞれ自分のお気に入りの商品について手描きのPOPを作成するなど、顧客側の視点に立って、いろいろ改善することが大切。」と具体的なアドバイスが行われました。

参加者からは、「たくさんの気づきがあり、すぐ出来る取り組みが紹介されて、非常に参考になった。」と好評でした。



【研修会の様子】

■「横手やきそば」が地域団体商標に登録

協同組合横手やきそば暖簾会(伊藤一男理事長)の「横手やきそば」が、平成24年12月28日付けで特許庁から地域団体商標に登録されました。本県では、7件目の登録で、協同組合関係では「秋田諸越(秋田県菓子工業組合)」、「川連漆器(秋田県漆器工業協同組合)」に次いで3組合目となりました。

伊藤理事長は、「今後とも横手やきそばブランドを守っていくとともに、地元を始め県内外から来られるお客様に美味しい横手やきそばを提供し、交流人口を増やしなが、積極的にまちおこしに取り組んでいきたい。」と決意を述べました。

なお、2月27日(水)に、横手市のよこてシャイニーパレスにおいて、地域団体商標登録報告会と祝賀会が盛大に行われました。

『地域団体商標』とは

地域団体商標制度は、地域ブランドを適切に保護することにより、信用力の維持による競争力の強化と地域経済の活性化を支援することを目的とし、平成18年4月から導入された制度です。

「地名+商品(役務)名」からなる商標をその地域との密接な関連性を有する商品・サービスに使用して一定の地理的範囲内で周知となっている場合に、地域の事業協同組合等が、地域団体商標として商標登録を受けることができます。

～協同組合横手やきそば暖簾会～



■「あきた鹿角国体2013」の入賞トロフィーを製作 ～大館曲げわっぱ協同組合～

2月16日(土)～19日(火)の4日間に亘り開催された第68回国体冬季大会「あきた鹿角国体2013」において、男女総合成績(天皇賞)と女子総合成績(皇后賞)及び、上位8位までの入賞都道府県に、本県を代表する伝統工芸「曲げわっぱ」の工法を用いたトロフィーが副賞として贈られました。

トロフィーは、大館曲げわっぱ協同組合(佐々木悌治理事長)が国体実行委員会の依頼で製作したもので、外側の3本のアーチで競技テーマである「人・雪・感動」を表し、内側の球体が夢の未来を育てている様子を表現しており、高さは、男女総合が45cm、女子総合が40cmとなっています。



【天皇杯(左)・皇后杯(右)】

■「復興祈念硯箱セット」が完成

～秋田県漆器工業協同組合～

秋田県漆器工業協同組合(佐藤善六理事長)は、昨年秋から、東日本大震災で被災した雄勝硯生産販売協同組合(宮城県石巻市)及び大堀相馬焼協同組合(福島県浪江町)と共同で「復興祈念硯箱セット」の開発に取り組み、このたび大・小各10セットが完成しました。

硯箱セットは、「川連漆器の硯箱(本県)」、「雄勝硯(宮城県)」、「大堀相馬焼の水滴(福島県)」の三つの伝統工芸品を組み合わせたもので、箱の蓋に“明るさ”や“復興への希望”をテーマにした装飾を施した全20アイテムを制作。2月6日(水)～8日(金)の三日間に亘り東京ビッグサイトで開催された「第75回東京インターナショナル・ギフトショー」に出展したほか、2月9日(土)～10日(日)には、湯沢市の伝統行事「犬っこまつり」に展示しました。

佐藤理事長は、「硯箱セットは、工芸品として高い価値を持ち、未だに仮設工場で作業する雄勝硯・大堀相馬焼の両組合にとって、震災後初の本格出荷となるだけでなく、職人達の思いが込められた製品を多くの方にご愛用いただき、産地の復興と販路拡大に繋げたい。」と今後の抱負を述べました。



【ほおずき(サイズ「大」)】



【硯箱セット(大)】

【お問合せ】

秋田県漆器工業協同組合(川連漆器伝統工芸館) ☎0183-42-2410

■40周年記念式典・祝賀会を開催

～秋田県素材生産事業協同組合連合会～

2月6日(水)、秋田市のパーティーギャラリーイヤタカにおいて、秋田県素材生産事業協同組合連合会(兼子富市理事長)の創立40周年記念式典、記念講演及び祝賀会が開催されました。

式典には、東北森林管理局の矢部三雄局長を始め、多数の来賓や会員等77名が出席し、長年に亘り役員としてご活躍された5名の方に感謝状が贈られるなど、創立40周年の節目の年を盛大に祝いました。

引き続き、岩手大学の岡田秀二教授を講師として、「森林・林業再生への決意～政策転換を素材に～」と題し記念講演が行われました。



【記念式典の様子】

■「こども作文コンクール」表彰式を開催

～秋田県印刷工業組合～

2月16日(土)、秋田市のホテルメトロポリタン秋田において、秋田県印刷工業組合(大門一平理事長)秋田支部主催で「文字・活字文化の日」記念第4回こども作文コンクールの表彰式が行われました。

同コンクールは、作文を通じて文字や活字の大切さを知ってもらうことを目的としています。今回は、「わたしの将来の夢」をテーマとして秋田市内の小学3年生～6年生を対象に作品を募集し、14校から218作品の応募がありました。表彰式では、審査委員長の佐々木孝氏から、「これからも夢を持ち続け、達成のために努力してほしい。」と講評があり、受賞した児童16名並びに受賞校1校に対し賞状が授与されました。



【受賞者記念撮影】

支援団体活動レポート

新春セミナーを開催 ～あきた工業団体連絡協議会～

1月30日(水)、秋田市の秋田ビューホテルにおいて、あきた工業団体連絡協議会(須田精一会長)の新春コラボレーションセミナーが開催され、秋田県電子工業振興協議会、一般社団法人秋田県機械金属工業会、秋田県アパレル産業振興協議会の会員等約130名が参加しました。

セミナーでは、講師の株式会社ドラゴン・ラボラトリーズ代表取締役社長堀口卓志氏が、「イノベーションを生む人材の育成」と題して講演。厳しい経営環境で生き残るための手法としてイノベーションが必要であること、顧客のウォンツやニーズに対応することによりイノベーションに成功した事例等について講話がありました。

同氏は、「資金的にも人材的にも不足している中小企業が、企業再成長の鍵としてのイノベーションに取り組むには、補完関係になる組合せでチームをつくり、チームとして人材を育成することがポイントである。」と提言され、参加者は熱心に聴講しました。

引き続き、新春交流会が行われ、須田精一会長からは「ものづくりをする企業同士が業種の垣根を越えて交流を深め、地域産業の活性化を図っていこう。」と挨拶があり、各団体の会員等約120名が県内製造業の発展に取り組むことを誓い合いました。



【セミナーの様子】



【講師の堀口卓志氏】

新春講演会を開催 ～秋田県異業種交流倶楽部～

2月14日(木)、秋田市のホテルメトロポリタン秋田において、秋田県異業種交流倶楽部(齊藤健悦会長)の新春講演会が開催され、中小企業大学校仙台校を始め、秋田県や関係団体など約40名が参加しました。

講師のフュージョンナレッジ代表小泉誠二氏からは、「連携による“新たな挑戦”」と題する講演の中で、連携の形態が“技術・商品開発型”から商品開発から販路開拓に至るまで連携して行う“事業型”へと変化していること等が紹介されました。また、中小企業大学校仙台校校長福村恭氏からは、中小企業大学校仙台校が行う人材育成と多様なプログラムについて説明が行われました。

引き続き新年交流会が行われ、齊藤健悦会長から「当倶楽部の設立から20年が経過した。経営環境は大きく変化しているが、今後とも、会員企業同士が連携して秋田を元気にするような活動に取り組んでいきたい。」と挨拶。企業経営者等が地域や業種の枠を超えて交流を深めました。



【講師の小泉誠二氏】



【福村仙台校校長】

平成24年度第2回研修会を開催 ～秋田県中小企業組合士会～

2月15日(金)、秋田市の第一会館本館において、秋田県中小企業組合士会(堀川深雪会長)の平成24年度第2回研修会が、秋田県社会保険労務士会専務理事の工藤韶貢氏を講師として、「60歳からの働き方とねんきん知識」をテーマに開催されました。

工藤氏からは、年金に関連する手続きのタイミングと給付金額を中心に、定年退職に伴う失業保険給付額・年金支給額等のほか、本年4月から施行される改正高年齢者雇用安定法や労働環境の整備など様々なアドバイスが行われ、参加者からは、「身近なテーマで非常に参考になった。」と好評を博しました。

引き続き新年会が行われ、堀川会長は、「今年は組合士制度が始まって40周年、全国中小企業組合士協会連合会の30周年にあたる。組合士に対する信頼や評価を高め、活動の場が広げられるよう、研修会等に積極的に参加し、研鑽に励んでもらいたい。」と挨拶し、会員同士が更なる飛躍を誓い合いました。



【研修会の様子】

インフォメーション

組合役職員事務セミナーのご案内

本会では、事業年度末における決算関係書類の作成や通常総会の開催、定款・役員変更の手続き、税務申告等に関するセミナーを、下記のとおり開催します。今回は中小企業会計要領の説明のほか、総会や理事会等に関する適正な運営方法についても説明致しますので、是非、ご参加下さい。

1 日 時	平成25年3月19日(火) 午後1時30分～4時30分
2 場 所	秋田市 秋田キャスルホテル3F「矢留の間」
3 開催内容	①「年度末の決算処理と税制及び中小企業会計要領について」 講師：税理士 磯崎悠耶 氏 ②「決算後事務手続き及び総会・理事会運営等の要点について」 ※ 当日は、電卓と筆記用具を使用します。
4 受講料	2,000円(テキスト、資料代) ※当日受付にて拝受致します。
5 申込締切	平成25年3月8日(金)

【申込み・お問合わせ先】本会 工業振興課 ☎018-863-8701

平成25年度本会通常総会開催(予定日)のご案内

日 時	平成25年6月6日(木) 午後3時30分から
場 所	秋田市 ホテルメトロポリタン秋田(秋田市中通七丁目2-1) ※ 開催日は、4月以降に開催される理事会で正式決定となります。